

伏黒出張所タイムズ



Vol.32
H27.10.13発行

阿武隈川・荒川などの河川を管理しています！

河川愛護団体表彰

長年、河川の清掃や美化に努め、または河川愛護活動の参加や協力をされるなど、その功績が認められる団体や個人を対象として、毎年7月の河川愛護月間に表彰を行っています。今回、伏黒出張所管内では安原光一さん、NPO法人 御倉町かいわいまちづくり協議会が福島河川国道事務所長表彰を授与されました。



安原 光一さん

荒川の日ノ倉橋付近において、ホテルの生息環境の保護活動を実施されています。

NPO法人 御倉町かいわいまちづくり協議会

阿武隈川および荒川において、河川敷の除草や清掃、花壇作り等を実施されています。写真は代表を務める蓮沼 幹子さん。

建設事業関係功労者表彰

水門等水位観測員として樋門・樋管等の操作業務に15年以上継続し従事された渡利第3・第4樋管の今野正春さん(下写真)、他3名の方々が福島河川国道事務所長表彰を授与されました。

また、20年以上継続し従事された大正樋門の三浦誠一さんが東北地方整備局長表彰を授与されました。



福島河川国道事務所長表彰

◆ 岡崎 光さん
(五十沢樋門)

◆ 一條 利博さん
(五十沢樋門)

◆ 今野 正春さん
(渡利第3・第4樋管)

◆ 石井 健二さん
(福島第9樋管)

東北地方整備局長表彰 ◆ 三浦 誠一さん(大正樋門)



▲鎌田大橋の現地視察で、伏黒出張所の栗田所長から粗朶沈床工の説明を受ける研修員の皆さん。



鎌田地区の粗朶沈床工を マラウイ共和国へ伝授

アフリカのマラウイ共和国から来日したJICA研修員に向けた現地研修が7月28日に行われました。今回の研修は、JICAの「草の根技術協力事業」を活用したマラウイ共和国における農業水利技術者の育成を目指すもので、その1つとして鎌田地区で施工された粗朶沈床工の視察が実施されました。4名の研修員は現地視察後、協力会社の渋谷建設(株)で模型やビデオを利用した講習を受けられました。枝束ね・結束方法の実演と技術指導(下写真)も行われ、日本の伝統工法を伝授しました。



▲マラウイの研修員から伏黒出張所へ、お礼の手紙が届きました。

ぞだちんしょうこう 粗朶沈床工



明治初期にオランダから伝来した「粗朶沈床工」は、細い木を集めて束状にした粗朶が主体の「敷き粗朶」、沈石からなる「沈床工」で構成され、河川の根固めや床固めとして採用されてきた伝統工法です。現在の工法はコンクリート護岸が主流となっていますが、鎌田大橋上流左岸では平成17年にこの工法で工事が行われ、伝統技術を継承する取り組みとして自然にもやさしい施工事例となっています。

～阿武隈川にぎわいプロジェクト～ 阿武隈川の歴史探訪会

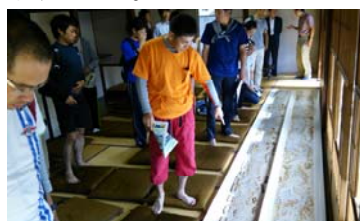
「阿武隈川にぎわいプロジェクト」では、9月19日に「阿武隈川の歴史探訪会」を開催しました。御倉邸で勉強会が行われ、元福島市教育委員会文化課長の柴田 俊彰氏を講師に「阿武隈川の舟運」について講話をいただきました。また、江戸時代中期に制作された県指定重要文化財「阿武隈川舟運図」を写したパネルも公開されました。約40名の方が参加され、阿武隈川と舟運事業の歴史について触れる機会となりました。

予定されていたカヌーによる阿武隈川の歴史探訪は川の水位の上昇により中止となり、今回は勉強会のみで開催となりました。



(上写真) 阿武隈川の舟運について地図や写真などの資料をもとに、分かりやすく解説する講師の柴田 俊彰氏。

(右写真) 舟運が栄えた当時の歴史を垣間見ることができる阿武隈川舟運図。



阿武隈川にぎわいプロジェクトの ロゴマークが決定しました！

一般公募で全国から25人、32作品が寄せられ、右記の作品が採用されました。阿武隈川のローマ字表記の「A」と「川」の字を組み合わせたデザインになっています。今後、イベントPRや広報物等で幅広く活用していきます。



阿武隈川にぎわいプロジェクト

天神橋架橋50周年記念式典

阿武隈川に架かる天神橋が架橋50周年を迎え、その記念式典が9月27日に行われました。栗田所長も式典に出席し、祝辞を述べ記念の「説明道標」除幕も行いました。他にも式典では、天神橋が開通した昭和39年生まれの方による渡り初めの再現なども行われました。



▲50周年記念の説明道標

あらかわNEWS

5年連続！

水質が「最も良好な河川」に
評価されました

国土交通省では大臣管理区間の一級河川において水質調査を実施しています。平成26年(1月～12月)の水質調査結果が7月31日に発表になり、荒川が5年連続で全国の水質「最も良好な河川」に選定されました。毎年の評価は、流域の皆様の河川愛護のおかげでもあります。秋の行楽シーズンになると、荒川の河川敷は芋煮会やバーベキュー等でたくさんの利用者で賑わいます。皆さんが快く利用できるよう、ゴミの持ち帰りのご理解とご協力をお願いします。

インターンシップの 現場実習が行われました

8月中旬～9月上旬にかけて、東北大学と二本松工業高校の学生さんが伏黒出張所を訪れ、河川管理に関わる現場実習を行いました。まず始めに出張所における年間の業務内容について学び、その後ラジコン操作による草刈作業を体験しました。堤防強化工事の現場では、大きなクレーンを使った矢板打ちの施工状況を見学しました。



▲矢板工が行われていた堤防強化工事の現場を見学する学生の皆さん。



▲遠隔式の除草機械を操作して草刈作業を行いました。

関東・東北豪雨 被災箇所への応急復旧

9月9日から11日の間に関東・東北地方を襲った大雨により、各地で大きな被害が発生しました。伏黒出張所管内でも出水後の巡視により、河岸が大きく削られている箇所を発見したことから、被害拡大を防止するため、石を詰めた袋を製作・設置し、速やかに応急対策を実施しました。



▲大雨により川が増水した荒川。濁流が迫る危険な状況でしたが、迅速に応急復旧の工事を行いました。

《お問い合わせ》

国土交通省 福島河川国道事務所

伏黒出張所

〒960-0502 伊達市箱崎字中32-1

TEL024(583)3233 FAX024(551)2337

http://www.thr.mlit.go.jp/fukushima/

★川や堤防の異常・変状などを発見されしたら、お手数ですがご連絡をお願いします。

